

令和4年度 学校評価 について

学校評価は、学校運営や教育活動について重点目標を設定し、その達成状況や取り組みの適切さを評価することにより、組織的、継続的な改善を図ることを目的としています。

本校では、毎年4月から5月にかけて重点目標と評価項目を学校評価委員会にて決定し、その内容に沿った教育に取り組んでいます。令和4年度は、年間2回（8月、2月）教員による自己評価を行い、さらに保護者の皆様を対象にしたアンケート調査（12月）を実施いたしました。保護者については842名（在籍の65%）の方からご回答を頂戴いたしました。

その集計結果を受けて考察・分析し、令和5年3月9日には、PTA役員様ご出席のもと、学校関係者評価委員会を開催いたしました。

以下に、委員会等を経てまとめた資料を掲載いたします。

目 次

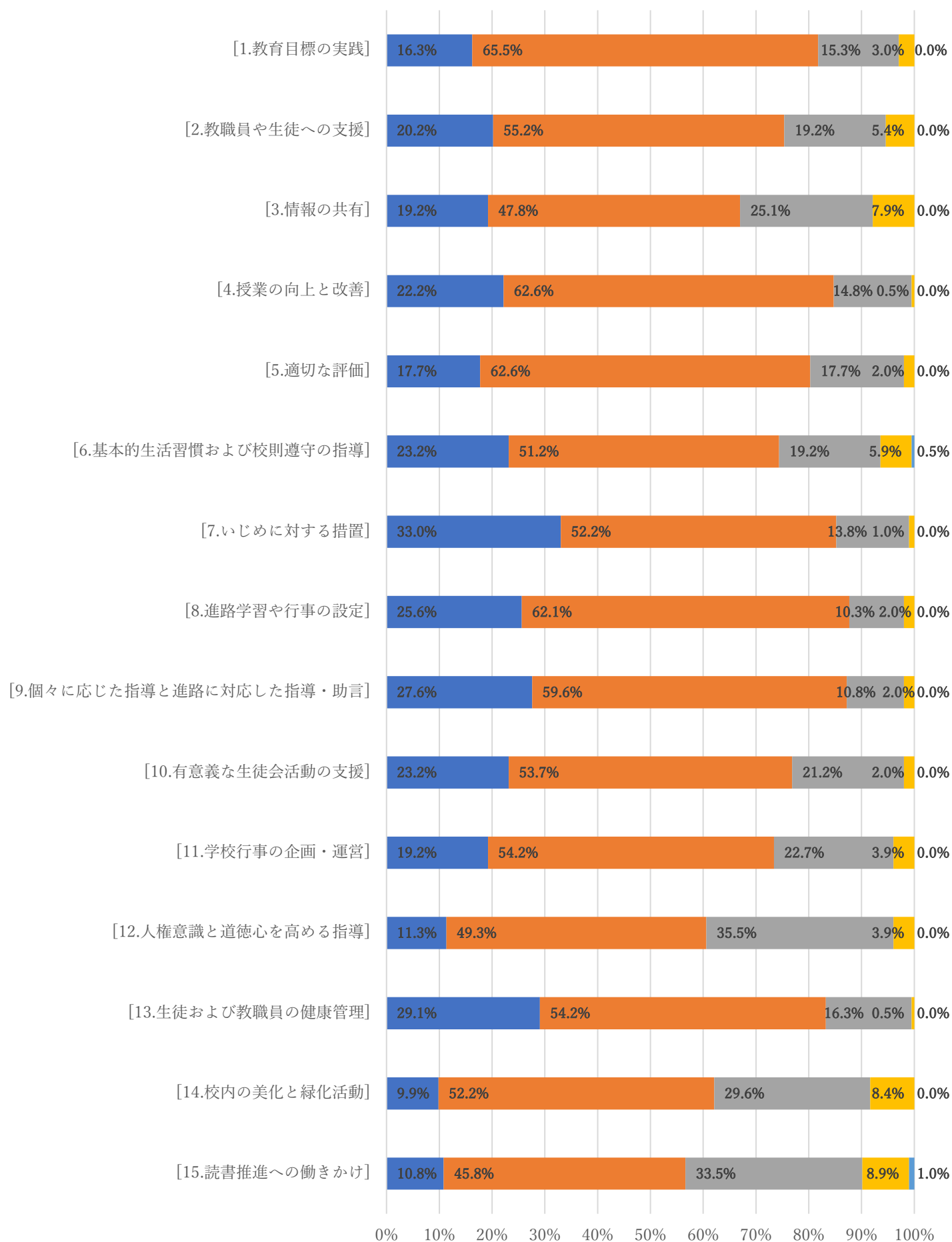
- 2頁. 教員自己評価の結果 【教職員：平均】 5段階評価値
- 3頁. 教員自己評価の結果 【教職員：平均】 グラフ
- 4頁. 保護者アンケートの結果 【保護者：全学年】 5段階評価値
- 5頁. 保護者アンケートの結果 【保護者：全学年】 グラフ
- 6頁. 学校評価集計結果の考察概要

令和4年度 学校評価【教職員：平均】

教育目標	人間としての尊厳を基盤とし、社会の変化に適応して生きる知恵と力を身につけ、高い倫理観と自主的な行動力を持つ有為な人間の育成を目標とする。									
教育方針	(1) 個性を伸ばす教育 多様な教育課程、わかる授業の実践により、生徒一人ひとりの適性や進路に応じて個性を伸ばし豊かな創造力を育てる。									
	(2) 自主性を育てる教育 知識教育に偏ることなく、多様な学校行事や部活動など、学校生活のあらゆる場を通して生徒の自主性を養い、夢を実現させる行動力を育てる。									
	(3) 人間性を高める教育 マナー教育と奉仕活動を通して基本的生活習慣や優しい心を養い、高い倫理観を育てる。									
5：よくあてはまる　4：だいたいあてはまる　3：ややあてはまる　2：あまりあてはまらない　1：全くあてはまらない										
評　　価　　項　　目				令和4年度評価						
				5	4	3	2	1	平均	
学校運営	1	生徒一人ひとりの個性を伸ばす教育に取り組み、生徒が明るく元気に学校生活を送っている	平均	16.3%	65.5%	15.3%	3.0%	0.0%	4.0	
			1回目	20.6%	63.7%	14.7%	1.0%	0.0%	4.0	
			2回目	11.9%	67.3%	15.8%	5.0%	0.0%	3.9	
	2	問題や悩みを抱える生徒の対応で、家庭と綿密に連携を取ったり教職員で支援したりしている	平均	20.2%	55.2%	19.2%	5.4%	0.0%	3.9	
			1回目	23.5%	52.9%	18.6%	4.9%	0.0%	4.0	
			2回目	16.8%	57.4%	19.8%	5.9%	0.0%	3.9	
	3	各種の便りやHP等を通して、学校の取り組みや生徒の様子、学校の魅力について発信している	平均	19.2%	47.8%	25.1%	7.9%	0.0%	3.8	
			1回目	18.6%	47.1%	26.5%	7.8%	0.0%	3.8	
			2回目	19.8%	48.5%	23.8%	7.9%	0.0%	3.8	
学習指導	4	教員がコースに応じた教材を選び授業内容を考え、よりよい授業を展開しようとしている	平均	22.2%	62.6%	14.8%	0.5%	0.0%	4.1	
			1回目	26.5%	63.7%	9.8%	0.0%	0.0%	4.2	
			2回目	17.8%	61.4%	19.8%	1.0%	0.0%	4.0	
	5	学習について教員が生徒を適切に評価している	平均	17.7%	62.6%	17.7%	2.0%	0.0%	4.0	
			1回目	16.7%	64.7%	17.6%	1.0%	0.0%	4.0	
			2回目	18.8%	60.4%	17.8%	3.0%	0.0%	4.0	
生徒指導	6	基本的生活習慣の確立に努め、校則や交通ルールなど規範意識を高める指導を行っている	平均	23.2%	51.2%	19.2%	5.9%	0.5%	3.9	
			1回目	28.4%	52.9%	13.7%	4.9%	0.0%	4.0	
			2回目	17.8%	49.5%	24.8%	6.9%	1.0%	3.8	
	7	いじめ（SNS上を含む）に対する措置を適切に行っている	平均	33.0%	52.2%	13.8%	1.0%	0.0%	4.2	
			1回目	35.3%	51.0%	12.7%	1.0%	0.0%	4.2	
			2回目	30.7%	53.5%	14.9%	1.0%	0.0%	4.1	
進路指導	8	計画的に進路学習や行事を設定し、生徒の関心・意欲を喚起している	平均	25.6%	62.1%	10.3%	2.0%	0.0%	4.1	
			1回目	24.5%	62.7%	11.8%	1.0%	0.0%	4.1	
			2回目	26.7%	61.4%	8.9%	3.0%	0.0%	4.1	
	9	個々の適性や能力に応じて、受験や就職に対応した適切な指導・助言ができています	平均	27.6%	59.6%	10.8%	2.0%	0.0%	4.1	
			1回目	25.5%	61.8%	10.8%	2.0%	0.0%	4.1	
			2回目	29.7%	57.4%	10.9%	2.0%	0.0%	4.1	
特別活動	10	有意義な生徒会活動や部活動を学校全体で支援している	平均	23.2%	53.7%	21.2%	2.0%	0.0%	4.0	
			1回目	24.5%	52.0%	21.6%	2.0%	0.0%	4.0	
			2回目	21.8%	55.4%	20.8%	2.0%	0.0%	4.0	
	11	生徒が積極的に協働して取り組めるような学校行事を企画・運営している	平均	19.2%	54.2%	22.7%	3.9%	0.0%	3.9	
			1回目	19.6%	52.9%	22.5%	4.9%	0.0%	3.9	
			2回目	18.8%	55.4%	22.8%	3.0%	0.0%	3.9	
	12	学級活動を通じて人権意識と道徳心を高め、健全な人間関係の構築に努めている	平均	11.3%	49.3%	35.5%	3.9%	0.0%	3.7	
			1回目	10.8%	52.0%	34.3%	2.9%	0.0%	3.7	
			2回目	11.9%	46.5%	36.6%	5.0%	0.0%	3.7	
保健衛生	13	感染症防止対策と安全教室、生徒及び教職員の健康管理に努めている	平均	29.1%	54.2%	16.3%	0.5%	0.0%	4.1	
			1回目	34.3%	47.1%	17.6%	1.0%	0.0%	4.1	
			2回目	23.8%	61.4%	14.9%	0.0%	0.0%	4.1	
環境美化	14	校内の清掃美化と緑化活動に積極的に努めている	平均	9.9%	52.2%	29.6%	8.4%	0.0%	3.6	
			1回目	11.8%	52.9%	27.5%	7.8%	0.0%	3.7	
			2回目	7.9%	51.5%	31.7%	8.9%	0.0%	3.6	
学校図書館	15	適切な図書の購入と情報提供を通して、読書推進に取り組んでいる	平均	10.8%	45.8%	33.5%	8.9%	1.0%	3.6	
			1回目	12.7%	46.1%	31.4%	9.8%	0.0%	3.6	
			2回目	8.9%	45.5%	35.6%	7.9%	2.0%	3.5	
教職員　平　均				20.6%	55.2%	20.3%	3.8%	0.1%	3.9	

令和4年度 学校評価【教職員：平均】

■ 5.よくあてはまる ■ 4.だいたいあてはまる ■ 3.ややあてはまる
■ 2.あまりあてはまらない ■ 1.全くあてはまらない



令和4年度 学校評価【保護者：全学年】

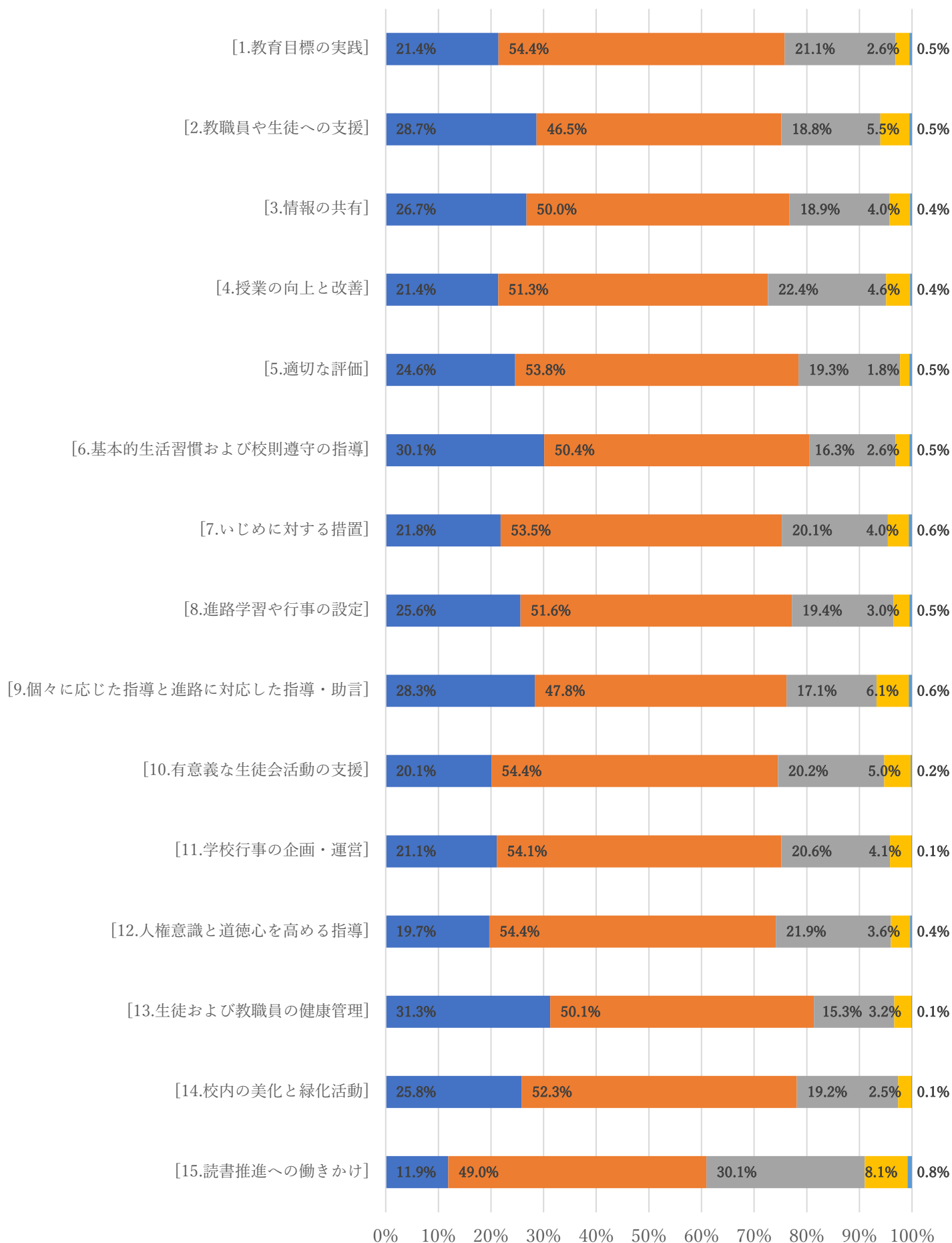
教育目標	人間としての尊厳を基盤とし、社会の変化に適応して生きる知恵と力を身につけ、高い倫理観と自主的な行動力を持つ有為な人間の育成を目標とする。
教育方針	(1) 個性を伸ばす教育 多様な教育課程、わかる授業の実践により、生徒一人ひとりの適性や進路に応じて個性を伸ばし豊かな創造力を育てる。
	(2) 自主性を育てる教育 知識教育に偏ることなく、多様な学校行事や部活動など、学校生活のあらゆる場を通して生徒の自主性を養い、夢を実現させる行動力を育てる。
	(3) 人間性を高める教育 マナー教育と奉仕活動を通して基本的生活習慣や優しい心を養い、高い倫理観を育てる。

5：よくあてはまる 4：だいたいあてはまる 3：ややあてはまる 2：あまりあてはまらない 1：全くあてはまらない

評 価 項 目			学年	令和4年度評価					
				5	4	3	2	1	平均
学校運営	1	生徒一人ひとりの個性を伸ばす教育に取り組み、生徒が明るく元気に学校生活を送っている	全学年	21.4%	54.4%	21.1%	2.6%	0.5%	3.9
			1学年	19.4%	56.5%	21.9%	1.9%	0.3%	3.9
			2学年	20.0%	52.8%	21.6%	5.2%	0.4%	3.9
			3学年	25.2%	53.3%	19.6%	1.1%	0.7%	4.0
	2	問題や悩みを抱える生徒の対応で、家庭と綿密に連携を取ったり教職員で支援したりしている	全学年	28.7%	46.5%	18.8%	5.5%	0.5%	4.0
			1学年	26.4%	49.7%	19.1%	4.5%	0.3%	4.0
			2学年	26.4%	42.0%	23.2%	8.0%	0.4%	3.9
			3学年	33.3%	47.0%	14.4%	4.4%	0.7%	4.1
	3	各種の便りやHP等を通して、学校の取り組みや生徒の様子、学校の魅力について発信している	全学年	26.7%	50.0%	18.9%	4.0%	0.4%	4.0
			1学年	27.6%	47.9%	21.0%	3.2%	0.3%	4.0
			2学年	24.4%	50.0%	20.0%	5.6%	0.0%	3.9
			3学年	27.9%	52.4%	15.6%	3.3%	0.7%	4.0
学習指導	4	教員がコースに応じた教材を選び授業内容を考え、よりよい授業を展開しようとしている	全学年	21.4%	51.3%	22.4%	4.6%	0.4%	3.9
			1学年	21.0%	54.1%	20.7%	3.8%	0.3%	3.9
			2学年	19.3%	47.4%	28.5%	4.8%	0.0%	3.8
			3学年	23.7%	51.5%	18.9%	5.2%	0.7%	3.9
	5	学習について教員が生徒を適切に評価している	全学年	24.6%	53.8%	19.3%	1.8%	0.5%	4.0
			1学年	22.2%	58.7%	17.1%	1.6%	0.3%	4.0
			2学年	23.2%	52.0%	22.4%	2.0%	0.4%	4.0
			3学年	28.6%	49.8%	19.0%	1.9%	0.7%	4.0
生徒指導	6	基本的生活習慣の確立に努め、校則や交通ルールなど規範意識を高める指導を行っている	全学年	30.1%	50.4%	16.3%	2.6%	0.5%	4.1
			1学年	31.1%	51.1%	14.6%	2.5%	0.6%	4.1
			2学年	26.0%	53.2%	18.0%	2.8%	0.0%	4.0
			3学年	32.8%	47.0%	16.8%	2.6%	0.7%	4.1
	7	いじめ（SNS上を含む）に対する措置を適切に行っている	全学年	21.8%	53.5%	20.1%	4.0%	0.6%	3.9
			1学年	21.3%	58.1%	17.1%	3.2%	0.3%	4.0
			2学年	17.7%	54.4%	22.6%	4.8%	0.4%	3.8
			3学年	26.2%	47.2%	21.3%	4.1%	1.1%	3.9
進路指導	8	計画的に進路学習や行事を設定し、生徒の関心・意欲を喚起している	全学年	25.6%	51.6%	19.4%	3.0%	0.5%	4.0
			1学年	21.3%	56.1%	20.4%	1.9%	0.3%	4.0
			2学年	21.7%	50.2%	23.3%	4.8%	0.0%	3.9
			3学年	34.2%	47.6%	14.5%	2.6%	1.1%	4.1
	9	個々の適性や能力に応じて、受験や就職に対応した適切な指導・助言ができている	全学年	28.3%	47.8%	17.1%	6.1%	0.6%	4.0
			1学年	21.2%	55.4%	16.7%	6.4%	0.3%	3.9
			2学年	23.4%	44.0%	23.8%	8.5%	0.4%	3.8
			3学年	41.1%	42.6%	11.5%	3.7%	1.1%	4.2
特別活動	10	有意義な生徒会活動や部活動を学校全体で支援している	全学年	20.1%	54.4%	20.2%	5.0%	0.2%	3.9
			1学年	17.5%	58.6%	19.4%	4.1%	0.3%	3.9
			2学年	17.3%	52.2%	23.7%	6.8%	0.0%	3.8
			3学年	25.7%	51.7%	17.8%	4.5%	0.4%	4.0
	11	生徒が積極的に協働して取り組めるような学校行事を企画・運営している	全学年	21.1%	54.1%	20.6%	4.1%	0.1%	3.9
			1学年	19.4%	57.0%	20.7%	2.9%	0.0%	3.9
			2学年	19.6%	50.0%	25.2%	5.2%	0.0%	3.8
			3学年	24.4%	54.4%	16.3%	4.4%	0.4%	4.0
	12	学級活動を通じて人権意識と道徳心を高め、健全な人間関係の構築に努めている	全学年	19.7%	54.4%	21.9%	3.6%	0.4%	3.9
			1学年	17.9%	56.5%	21.7%	3.5%	0.3%	3.9
			2学年	18.9%	52.0%	25.0%	3.7%	0.4%	3.9
			3学年	22.6%	54.1%	19.2%	3.8%	0.4%	3.9
保健衛生	13	感染症防止対策と安全教室、生徒及び教職員の健康管理に努めている	全学年	31.3%	50.1%	15.3%	3.2%	0.1%	4.1
			1学年	29.7%	51.1%	14.4%	4.8%	0.0%	4.1
			2学年	29.3%	52.6%	16.5%	1.6%	0.0%	4.1
			3学年	34.8%	46.7%	15.2%	3.0%	0.4%	4.1
環境美化	14	校内の清掃美化と緑化活動に積極的に努めている	全学年	25.8%	52.3%	19.2%	2.5%	0.1%	4.0
			1学年	27.1%	50.0%	20.1%	2.5%	0.3%	4.0
			2学年	21.3%	58.6%	18.1%	2.0%	0.0%	4.0
			3学年	28.6%	49.1%	19.3%	3.0%	0.0%	4.0
学校図書館	15	適切な図書の購入と情報提供を通して、読書推進に取り組んでいる	全学年	11.9%	49.0%	30.1%	8.1%	0.8%	3.6
			1学年	12.6%	48.1%	31.0%	7.4%	1.0%	3.6
			2学年	9.8%	51.6%	29.3%	8.5%	0.8%	3.6
			3学年	13.1%	47.8%	29.9%	8.6%	0.7%	3.6
全学年 平均				23.9%	51.5%	20.0%	4.1%	0.4%	3.9

令和4年度 学校評価【保護者：全学年】

■ 5.よくあてはまる ■ 4.だいたいあてはまる ■ 3.ややあてはまる
■ 2.あまりあてはまらない ■ 1.全くあてはまらない



令和４年度 学校評価集計結果の考察概要

学校運営	1	生徒一人ひとりの個性を伸ばす教育に取り組む、生徒が明るく元気に学校生活を送っている	本年度よりスクールポリシー策定が義務付けられ、本校でもそのスクールポリシーのうちの一つであるグラデュエーション・ポリシーに生徒一人ひとりが自分の良さや可能性を認識させることを掲げているがあまり浸透していない。さまざまな教育活動を行っていく際に、常にスクールポリシーを意識した活動目標を設定することで教職員が同じ意識を持ち、生徒がいきいきと学校生活を送ることができるように支援していきたい。
	2	問題や悩みを抱える生徒の対応で、家庭と綿密に連携を取ったり教職員で支援したりしている	週1度のペースでスクールカウンセラーが来校するが、複数の生徒が何度も利用し問題や悩みに対応し担任のサポートを行っている。しかし、さまざまな状況を抱える生徒の指導や対応に苦慮し、一人で抱え込んでしまっていることがある。教職員間で情報が共有できるように学年団や関係部署とのケース会議を開催するなどチームとして対応して行く必要がある。
	3	各種の便りやHP、SNS等を通して、学校の取り組みや様子、学校の魅力について発信している	今年度はコロナ禍ではあったが、英明祭や授業参観などを開催でき、保護者の方にとっては直接来校して学校の様子を体感することができた。また、SNSを通じての学校の魅力発信を新たに始めた。保護者の方からは「楽しく拝見しています」とのコメントもいただき、少しずつではあるが様子が伝わり保護者の方の安心に繋がっていると感じた。一方で、学校の様子がわからないという保護者アンケートからのコメントもあった。これについては、保護者と生徒、教員と生徒とのコミュニケーション不足だと結論付けるのではなく、今後、生徒が自然体で学校の様子を語るような学校づくりや発信の工夫をしていかなければと思う。
学習指導	4	教員がコースに応じた教材を選び授業内容を考え、よりよい授業を展開しようとしている	新教育課程が年次進行で1年生から始まり、授業内容や課題を教科で話し合い、授業内容の研究に努めた。またICT機器の導入でPCや大型モニターを使って展開する授業形態や、生徒が1人1台PCを使って調べる授業形態が増えた。また自動採点システムの導入でコースやクラスでの正答率を把握し、教員が弱点を把握した上で授業ができるようになった。しかし教員のデジタルデバイドの問題があること、教員間の授業に対しての温度差が感じられる。生徒が何を学び、教員がどのように教え、卒業までにどのような生徒に育ててほしいかを一度再確認し、教材研究を各教科で進めなければならない。ICT機器に関しては研修の機会を設けたい。
	5	学習について教員が生徒を適切に評価している	新教育課程で観点別評価が1年生で導入された。同一コースで評価を揃えるため定期試験の出題範囲、内容、課題（宿題）を統一した。授業中の取り組みも評価の対象とするため授業中の何をもって評価するかを同一コースで揃えた。差が生じてはいけいないので年度途中教科で話し合いを持つようにした。新課程のことはまだ始まったばかりであり、何を評価の対象にするかの工夫改善、教員間で差が生じないための話し合いを継続するPDCAサイクルを続けなければならない。
生徒指導	6	基本的生活習慣の確立に努め、校則や交通ルールなど規範意識を高める指導を行っている	約81%の保護者が「よくあてはまる」と「だいたいあてはまる」と評価していただいたことは一定の理解を得られていると考えてよいだろう。今年度から1時限以降の遅刻を認めたが、基本的生活習慣の確立と矛盾が生じていないかデータを分析する必要がある。また校則を遵守させるための教員間の足並みを揃えた指導の励行を呼びかけていきたい。コメントにあった防寒着については、校則の見直しの一つとして試験的に緩和した。他の校則についても生徒や保護者の意見に耳を傾けて取り組みたい。
	7	いじめ（SNS上を含む）に対する措置を適切に行っている	命にかかわることなので「あまり当てはまらない」と「全く当てはまらない」と回答された保護者が合わせて4.6%（38人）いることを重く受け止めなければならないと感じている。今年度から「スクールサイン」を導入してネットいじめ対策を図った。通報があった場合、当該の担任・学年主任に報告してヒアリングを行った。一対多の図式による誹謗中傷の事案は確認されなかった。来年度以降も継続的に分析していく必要があるが、抑止力の効果はあったと思われる。

進路指導	8	計画的に進路学習や行事を設定し、生徒の関心・意欲を喚起している	学年ごとにそれぞれ適した内容を選択してガイダンスや講演会を行っている。Web・対面双方での学校説明会や小論文ガイダンスを実施するとともに、各コースの推薦対策講演会などを新たに企画した。生徒のニーズに沿った内容であればあるほど取り組み方に違いが出るので、今後も要所要所で効果的な働きかけをしていきたい。就職では、ガイダンスや面接講習会で意識向上に努めることができた。特に今年度は企業の方や公務員関係の方を招いたガイダンスが実施できたので、就職への意欲を高めることができた。
	9	個々の適正や能力に応じて、受験や就職に対応した適切な指導・助言ができている	1・2年生には適性検査を実施し、適性に合った職業や学問と進路を結びつけられるようにしている。進学希望者には、習熟度別授業や課外講座を実施するとともに、各種模試や検定試験、対策講座など、進路達成に向けての指導を行っている。模試や検定に前向きに取り組む生徒ほど満足度の高い進路を実現できるので、受け身の受講を少しでも減らせるように有益な情報を提供し、意識づけを強化したい。就職希望者にも、就職課外、適性検査、応募前職場見学などで個々の適性や希望に応じた指導を行っている。さらに、生徒の進路に合わせ、面接や小論文の指導にも担任と進学指導、就職指導が協力している。
特別活動	10	有意義な生徒会活動や部活動を学校全体で支援している	今年度の英明祭は3年ぶりにクラス企画を実施した。そのため、生徒が主体となって積極的に取り組めたクラス・部が増えた。また、飲食も楽しめるよう、衛生面を安心して任せられるキッチンカーによる販売を行い、生徒たちのお腹も満たされたようであった。予想以上の大盛況となったものの、雨の中での行列や売り切れの早い店もあり来年度の課題となった。部活動では、4月の生徒会オリエンテーションで部活動紹介を実施している。入部の勧誘方法や、入部者の増加、退部者の減少を顧問と共に模索し支援していきたい。
	11	生徒が積極的に協働してして取り組めるような学校行事を企画・運営している	ボランティア活動は、校外と校内の清掃を1度ずつ行うことができた。どちらも、人数を制限し、2日間に分けて行われた。事前に生徒へは教室でのポスター掲示にて案内し、各自でQRコードから申し込みできるようにした。当日は100人を超える生徒が参加したことから、積極的に行動できる生徒が予想以上に多いことが分かった。私たち教員の励みにもなった。英明祭では、フードドライブを今年度も継続して実施した。集まった食品数が増え認知度も上がったように思う。来年度もボランティア活動を継続したい。
保健衛生	12	学級活動を通じて人権意識と道徳心を高め、健全な人間関係の構築に努めている	人権意識や道徳観の育成を目的として多様な統一テーマを設定したLHRを実施し、生徒一人ひとりの意識の向上につながるよう適切な指導に努めた。今年度もまだ感染症対策の観点から生徒が一斉に集まる行事が十分行えなかったが、オンラインを有効に活用した活動を進める学級が多かった。次年度は徐々に従来の形式の学級活動も再開させ、生徒たちの健全な人間関係の構築につなげていけるように心掛けていきたい。
	13	感染症防止対策の徹底や安全教室の実施など、生徒及び教職員の健康管理に努めている	新型コロナ感染対策については、感染対策の徹底を常に呼びかけ大きく拡大することを食い止めることができていた。インフルエンザ、感染性胃腸炎などその他の感染症についてもコロナ禍前と比較してもかなり減少している。新型コロナ感染対策に伴う効果だと思う。今後新型コロナが第5類となり、感染対策が緩和された後の対策について検討が必要と考える。生徒の健康管理では、要精密検査による受診勧告書回収率はいずれも若干向上している。保健室利用状況では、頭痛、腹痛での利用が多いが、実際は気分不良であることがほとんどである。これは次年度の課題である。教職員では、健診補助制度を昨秋にスタートさせ希望者は現在6名である。制度については始まったばかりなので課題を見つけ改善を図って行くとともに、自ら健康を向上させる事ができるようなシステムを検討する。
環境美化	14	校内の清掃美化と緑化活動を積極的に行っている	校内の清掃については、定期的に点検を行うことによって清掃活動をより活発化させたいと考えていたが、なかなか定着していないのが現状である。清掃がされていない場所は常に汚れた状態である。定期的に点検を行うことで美化を図ることも必要だが、何より生徒及び教員の清掃に対する意識を高めることが大切かと思う。また、緑化活動についても今年度は1年生を対象に1度だけ行うことができたが、次年度は季節ごとに各学年で花の植え替えなど活動回数を増やしたい。
学校図書	15	適切な図書の購入と情報提供を通して、読書推進に取り組んでいる	図書室の問題点の解決に向けて、来年度は新しい試みを実施する。図書委員の仕事の一環としての位置づけで、入れ替え式学級文庫（出張図書館）の活動を考えている。選書には、生徒だけでなく担任や校務分掌の教員も参加する。Classroomを用いての委員会活動は継続していくが、今年度は委員としての仕事の参加率に若干の問題が見られた。担任と協力して責任ある委員会活動になるよう生徒に働きかけを行う。